

特集  
介護専門家  
コラム

Care expert  
column

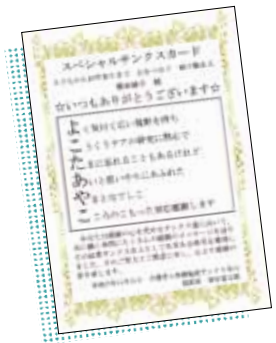
13

人材育成  
②

# 作業療法士に聞く 人材育成



「サンクスカード」に感謝の気持ちを込める。



授与された方の名前をあいうえお  
作文で讃える「スペシャルサンクス  
カード」。

Q1  
人材育成では  
何が一番大切？

A  
人材育成は「人」を大切に  
することから始まります。

人を大切にするということは職員  
一人一人を大切にすること  
です。職員の強みや個性を活かし  
お互いに承認し合い、それぞれが  
自分らしさを表現できる「人を大  
切にする職場風土」作りがポイン  
トです。

どの職員にも、その人にしかな  
い強みや個性があります。私  
が所属するリハビリ部にも、歩行  
訓練で成果を出す職員、子どもと  
の異世代交流が得意な職員、農耕  
作業が得意な職員、講義をするの

作業療法士  
小山智彦

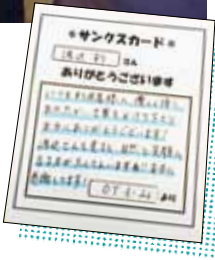
が上手い職員、責任感が強く研究  
熱心な職員など、強みや個性がな  
い職員は一人もいません。大切な  
ことは、その職員にしかない強み  
や個性を見つけてあげること、そ  
れを活かした役割を与え成功体験  
を積むこと、そして職場内でお互  
いに承認し合える環境を作ること  
です。その結果、職員のモチベー  
ションが上がり、それぞれが自分  
らしく働き成長することへと繋が  
っていきます。

私はこういった考えを作業療法  
士の仕事から学びました。作業療  
法士はリハビリの専門職です。リ  
ハビリというと筋トレや歩行訓練  
をイメージしやすいですが、作業  
療法士は利用者様の強みや個性を  
活かし、役割や生きがいを持ちな  
がら、その人らしく生きるための  
支援を得意とします。例えば、私  
が担当した元職人で認知症のAさ  
んは、記憶力の低下や身体の衰え  
とともに生きる意味を失い、部屋  
に閉じこもりがちになってしま  
いました。しかし職人時代に得意だ  
った「わら細工」という作業を通

# その人にしかない強みを見つけてあげること



感謝の言葉を伝える「サンクスカード」は職員同士だけでなく利用者や利用者家族との間でも取りされる。



して成功体験を積み、自信を取り戻すことができました。その結果、やら細工を若者に教えるという役割ができ、Aさんらしい人生を取り戻すことができました。こういった作業療法士の視点は、認知症や障がいを持った方だけではなく「すべての人」が自分らしく生きていくための大切な考え方になり得るのではないのでしょうか。

リハビリや介護で大切なことは利用者様の強みや個性を生かしながら生きがいをもち、その人らしい人生を支援していくことです。それは職員であっても同じです。職員それぞれの強みや個性を生かしながら自分らしさを表現し、それを承認し合える職場環境が「人を大切に作る職場風土」を作り、職員一人一人の成長に繋がっています。

## Q2

感謝を大切に「サンクス道」とは？

## A

「サンクス道」は人材育成や職場環境の改善、また利用者様へのサービス向上のために持っている独自の活動です。サンクス道は「感謝の心を極め、自分らしさを磨く道」と定義しており、「サンクスカード」という感謝の言葉を伝えるカードをメインに活動を展開しています。サンクスカードは職員間だけでなく

### サンクス道名人の方々



サンクス道名人に与えられる「ファンタスティックサンクスカード」の授与式。

く、利用者様やご家族様ともやり取りすることができ、カードを投入した枚数で階級が上がっていく仕組みになっています。10枚投函でサンクス道三段、39枚で名人、100枚で師範へと階級が上がります。その階級になった職員に特別なカードが授与される仕組みになっています。

サンクス道三段になるとスペシャルサンクスカードが施設長より授与されます。このカードにはその職員だけの特別な称号と、長所をまとめた「あいうえお作文」が明記されます。称号や長所は、部署内で会議を開き、皆で話し合い決定していきます。会議では職員同士、お互いの長所を知り、尊重し認め合いながら、楽しい雰囲気で作っていきます。

サンクス道名人になるとファンタスティックサンクスカードが施設長から授与されます。このカー

ドには事務長からの感謝が込められた直筆メッセージとサイン、勲章などが記されます。さらに100枚投函しサンクス道師範に認定されると、理事長からのメッセージが給料明細書に同封され、師範認定証と記念品が贈られます。

このようにサンクス道では、サンクスカードを投函することで職員同士や利用者様へ感謝する精神が育まれていくだけでなく、階級が上がる毎に強みや個性が引き出され、上司や同僚から感謝され承認されるという体験ができます。

またコミュニケーションも活発になり、職場全体が明るい雰囲気になります。その結果「人を大切に作る職場風土」が生まれ、職員一人一人が成長しながら、個の強みや能力を生かしたサービスが展開されるようになります。

今まで投函されたカードは3000枚以上です！この活動で仕事だけでなく人生が変わった職員も多くいます。「人の良いところに目がいくようになった」「仲間と協力しながら良い仕事ができるようになった」「体調がよくなって毎日楽しくなった」「彼氏と上手くいき結婚ができた」など…。やることはたった一つ、感謝をするだけです。あとはちょっとした「コツ」が必要です。その詳細はブログで更新しています。職場環境や人材育成でお悩みの方はぜひご覧ください。

## Profile

小山智彦 / 作業療法士

●日本作業療法士協会 認定作業療法士 ●日本作業療法士協会 生活行為向上マネジメント指導者 ●日本実務能力開発協会 認定コーチ  
上越市柿崎区にある社会福祉法人みんなのできる介護老人保健施設サンクス米山の作業療法士として、またリハビリ部の係長として、勤務している。作業療法士としては精神科病院、デイケア、介護老人保健施設等で勤務し、学会発表や研修講師、学生指導、地域交流活動、書籍の執筆なども行ってきた。それらの経験を活かし、現在は、「感謝」を極め自分らしさを磨く道「サンクス道」を施設に取り入れ、個性が光り感謝で支え合う職場環境を目指し、日々奮闘している。



1日たった3分！“感謝”で現場が劇的に変わり能力が開花する☆「サンクス道」実践メソッド

<http://www.kaigogyokiki.net/niigata/blog/021/>